

城東区で「田中問題」学習講演会
組織強化期間に呼応、四名が入会

十二月六日、地域での日中友好住の玉川先生（大阪府歯科保険医運動を進めようと、組織強化期間協会名譽理事長）は、開会のあいの取り組みとして、大坂市城東区で「日中問題」学習講演会が開催されました。区内在住の会員が呼びかけ、二三名が集いました。協会外の参加が十五名ありました。

当日のプログラムは、渡辺武府連会長が語る「私と日中友好運動」と山本恒人府連副会長（大阪経済大学名誉教授）の「中国社会はどこに向かっているか」の二本立てでした。

参加者からは「詳細な資料で、中国の幹部の腐敗と摘発の動きがわかり、まともな国にしていくに疑問に丁寧にこたえてくれてよくわかった」という声の一方で「少し難しかった」という感想もありました。

元大阪城天守閣館長として知られている渡辺会長の話に「長年にわたる日中友好運動の経験が聞けて、渡辺さんの知らない部分がわかつて新鮮だった」という感想も寄せられました。

呼びかけ人代表の関目一丁目は、『南京引き裂かれた記憶』について「元海軍兵士の三谷翔さん」が証言に立ち、実際に見た累々たる犠牲者の模様、見聞したことを行われ、のべ七百人が鑑賞しました。





映画祭700名の盛況

中国の幹部の腐敗と摘発の動きが
わかり、まともな国にしていくには
は民衆の力がカギであるというこ
とがよく理解できた」「私たちの
疑問に丁寧にこたえてくれてよく
わかった」という声の一方で「少
し難しかった」という感想もあり
ました。

元大阪城天守閣館長として知ら
れている渡辺会長の話に「長年に
わたる日中友好運動の経験が聞け
て、渡辺さんの知らない部分がわ
かつて新鮮だった」という感想も
寄せられました。

「私と日中友好運動」と山本恒人府連副会長（大阪経済大学名誉教授）の「中国社会はどこにしているか」の二本立てでしょ、参加者からは「詳細な資

阪市城東区で「日中問題」学習講演会が開催されました。区内在住の会員が呼びかけ、二三名が集いました。協会外の参加が十五名ありました。

太極拳新春初稽古

1月10日(日) 北区民ホール
大阪府連主催で9時半から行います。

北区民ホールは、JR天満駅又は地下鉄扇町駅下車です。

1月11日(祝) 守口市民体育館

守口太極拳班主催で、守口市民体育館
二階武道室で10時から開催いたします。
ご参加をお待ちいたしております。

二月二二日、春節のつばさを五〇数名の参加で開催されました。中国民族楽団『家園』の演奏や太極拳の表演で春節を祝いました。『家園』のメンバーは内モンゴルや大連などから日本に帰国した中国残留孤児と残留二世で構成されています。



北東アジア友好の旅

北東アジア友好の旅

長谷川テルさんの遺児・
暁子さんと陵墓を訪ねる



できてい 瞽子さんは自分の祖国であ
て歴史を る日中双方がとても仲の悪い
しつかり ことに心を痛め、日中友好を
と教える 考えている人たちとともに、
ようになつ 母テルさんの墓参を考え、こ
て います。 の旅行を企画したものです。

2015年を振り返って、府連通信から
春節のつどい
二月二二日、春節のつどい
平和のつどいに450名
青年が朗読劇熱演